



子どもの病気・



障がいと向き合う

子どもの病気や障がいに対して、長い期間にわたりしっかりと向き合って生きていくことは、子ども本人にとっても、また家族にとっても大変なことです。

今回の展示では、そのような場合に参考となる育児や医療の本、現時点での病気や障がいをめぐる社会制度や支援の状況など、実際に家庭で役立つさまざまな本をご紹介します。



展示場所 鷺宮図書館 5階書架（入ってすぐ右）

展示期間 2013年4月27日（土）～6月27日（木）
（休館日は除く）

問合せ先 鷺宮図書館 中野区鷺宮 3-22-5 ☎ (03) 3337-1044



子どもの病気や障がいを 受け入れて、向き合う

～周囲の支えや、さまざまな情報を活用しよう～

わが子に病気や障がいがある、特にそれが一時的なものでなくこれから長い時間を過ごさなければならぬと分かった時、何をどうすればいいのかを考える以前に、両親にとってその事実をしっかりと受け入れ向き合っていくこと自体、大きな覚悟が必要になってきます。

それに加えて、夫婦共働きであったり近くにサポートをしてくれる人がいなかったりと、思うように時間を取ることさえままならないという状況も多いでしょう。

また、実際に育てていくにあたって、どのように遊ばせればいいのか、ほかの子との関わりはどうすればいいのか、叱るときにどういう配慮が必要か、子どもに自分の病気や障がいをどのように伝えればいいのかなど、悩むこと、迷うことはたくさんあります。

そんな状況で大切なのは、できるだけ自分たちだけで悩まず、助けてもらえる時は助けてもらう、活用できるものはできるだけ活用していく、ということではないでしょうか。

それには、まず何よりも普段からの家族の連携が大事ですし、もしも実家や友人から支援を得られる環境があれば、大変心強いものでしょう。また当然、かかりつけの医師や施設の先生なども、日々の支えとなってくれるでしょう。

身の回りの人々の支えに加えて、本やさまざまな情報も、有効に活用していきたいものです。

育児書や医学書、体験談から得られるもの

出版物に目を向けると、直接の助けになるのが専門家による育児書や医学書です。しかし日頃の育児の励みになるという点では、同じような立場に立った人たちの経験談からも、貴重な実体験に基づいた知恵や勇気をもたらすことができるかもしれません。

特に記憶に残るところでは、1998年に、重度の障がいにも関わらず前向きに生きる自身の姿を描いた乙武洋匡さんの『五体不満足』（後のページでも紹介しています）がベストセラーとなり、障がいを持った方だけでなく、多くの方の共感を集め、図書館でも大変よく読まれました。

このほかにも、さまざまな病気や障がいを持った方の体験談が多く出版されており、図書館にも所蔵されています。

また最近では、ブログやFacebook等のSNSサイトを利用し、自身の体験を公開している方も多く、自分と似たような状況をリアルタイムで知ることできるようになってきました。



最近の社会制度・支援は どうなっているの？

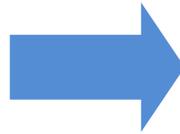
社会制度や支援についての知識を持つことも重要です。

例えば障がい児支援については、2012年度から枠組が大きく変わり、家から施設へ通う形（障がい児通所施設）を例にとると、下のように改編されました。

児童デイサービス

知的障がい児通園施設
肢体不自由児通園施設
難聴幼児通園施設

重症心身障がい児（者）通園施設



児童発達支援

- ・福祉型児童発達支援センター
- ・児童発達支援事業

医療型児童発達支援

- ・医療型児童発達支援センター
- ・指定医療機関

また、障がい児入所施設についても、福祉型と医療型に統合されました。

このほかにも、就学している障がいのある子どもに対して、放課後や夏休みなどの長期休暇中に生活能力向上のための訓練等を継続的に提供したり、自立を促進し放課後等の居場所づくりなどを行う「放課後等デイサービス」や、保育所等を利用する障がいのある子どもなどが保育所等における集団生活に対応できるようにするため、児童指導員などの専門員が保育所等に訪問して、保護者の相談に乗ったり、保育所の保育士の指導等を行う「保育所等訪問支援」が創設されました。



👉 療育って？

家から施設へ通う場合によく聞く言葉に「療育」というものがあります。これは、障がいをもつ子供が社会的に自立することを目的として行われる医療と保育をあわせた言葉です。二次障がいを防ぐためにも有効とされており、多くの場合は医療機関や保育園などから勧められます。

中野区では「療育センターアポロ園」という施設があり、北部・中部・南部・鷲宮の各「すこやか福祉センター」にてご相談を受付けています。

展示図書紹介

『小児ぜんそくの悩みをみるみる解消する 200%の基本ワザ』

監修／勝沼 俊雄 出版社／日東書院本社

小児ぜんそくは、概算で100万人といわれています。

ゼーゼー、ヒューヒューと苦しむ小児ぜんそくのお子さまを持つご家族の悩み、疑問に応える本です。基本的な薬の知識、家庭でできること、医療機関への相談の仕方など、最新のガイドラインと研究に基づいた、小児ぜんそくのコントロール法を図解入りでわかりやすく解説しています。



『五体不満足』 著者／乙武 洋匡 出版社／講談社

キャスターやスポーツライターとして、さらには先生として、多方面で活躍の乙武洋匡さん。最近では、自身が原作を書き、主演もしている映画『だいじょうぶ3組』が公開され、話題となりました。こうした活動の原点がこの本。1998年の刊行で、580万部のベストセラーとなりました。乙武さんが紹介している「障がいは不便である。しかし、不幸ではない」というヘレン・ケラーの言葉が15年たった今も、私たちの胸を打ちます。



展示図書リスト

～ 子どものさまざまな病気 ～

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
お母さんのためのやさしい小児喘息のおなはし	森川 昭広 望月 博之	医療ジャーナル社	2008	493.9 モ
こどものおなかの病気	新井 勝大	メディカルトリビューン	2012	493.9 ア
こどもの腎炎・ネフローゼ	五十嵐 隆 ／監修	メディカルトリビューン	2012	493.9 コ
上手にお付き合いアトピー／食物アレルギー	鈴木 五男 ／監修	小学館	2005	493.9 ジ
小児のメタボリックシンドローム	大関 武彦	少年写真新聞社	2011	493.9 オ
小児糖尿病・ヤング糖尿病	田嶋 尚子	主婦の友社	2009	493.9 タ

～ 子どものさまざまな障がい ～

書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
うちの子が「朝、起きられない」にはワケがある	森下 克也	メディカルトリビューン	2012	493.9 モ
子育て日記 わが子の「困り感」に寄り添って	遠藤 千恵子	学研	2008	378 コ
自分を好きになる力	近藤 直子	クリエイツかもがわ	2012	378 コ
ダウン症のこどもたちを正しく見守りながらサポートしよう！	玉井 邦夫	日東書院本社	2012	378.6 タ
はじめに読む自閉症の本	榊原 洋一	ナツメ社	2009	493.9 サ
療育ってええな！		かもがわ出版	2012	378 リ
わかる！できる！おやこ手話じてん		東邦出版	2012	378.2 ワ

このリストの他にも展示図書がございます。是非ご覧下さい

今回のテーマについて調べてみよう

鷺宮図書館の展示本以外にも資料や情報はたくさんあります。
ここではその探し方についてご紹介いたします。



1. キーワードから調べよう！

関連するテーマやキーワードはたくさんあります。
ご自分の気になるキーワードから調べてみましょう。

小児科学、アレルギー、アトピー性皮膚炎、小児ぜんそく、小児糖尿病、小児がん、療育、ホームケア、障がい児保育、障がい児教育、特別支援学級、など

2. 図書資料で調べよう！

☆ テーマの棚からさがす

<関連分野の請求記号>

児童福祉 369.4 / 障がい児教育 378
感染症 493.8 / 小児科学 493.9
婦人科・産科 495 / 眼科・耳鼻咽喉科 496 / 歯科 497
小児衛生・母子衛生 498.7 / 薬学 499 / 育児 599

☆ 図書館の蔵書をさがす

◎ 図書館にある **利用者開放端末 (OPAC)** の「蔵書検索」ページで書名やキーワードを入力して検索できます。パスワードを登録いただければ、端末から直接ご予約いただけます。

(一部貸出ができない資料もございます)

◎ パソコンや携帯を使って中野区立図書館のホームページから検索できます。

○ 中野区立図書館ホームページ <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/>

○ 中野区立図書館ホームページ (携帯) <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/i/>

* 予約の際にはパスワードの登録の他にメールアドレスの登録もあわせて必要となります。

☆ 中野区以外の図書館の蔵書を調べる

○ 東京都立図書館ホームページ <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

統合検索 (東京都内の公立図書館の蔵書約 4500 万冊を一括して検索できます。)

<http://ufinity51.jp.fujitsu.com/cass/usrshd.do?tenantId=metro&system>

○ 専門図書館ガイド <http://metro.tokyo.opac.jp/tml/trui/>

3. 中野区立中央図書館のデータベースサイトで調べよう！

中野区立中央図書館では、参考資料コーナーの利用者開放端末インターネット端末から以下の有料データベースサイトを無料でご利用いただけます。

「日経テレコン21」	1975年からの日経4紙（経済・産業・金融・流通）の新聞全文検索、有力企業や中央官庁などの幹部職員の人事情報の検索が可能。
「聞蔵Ⅱビジュアル」 朝日新聞記事データベース	1945年から当日の朝日新聞の記事・知恵蔵・AERA（創刊～）週刊朝日（2000年4月～ニュース面のみ）の記事が検索可能。
「官報情報検索サービス」	1947年5月3日以降から当日発行分までの官報が検索可能。
「MAGAZINE PLUS」	一般雑誌・専門雑誌の雑誌記事検索や論文情報などが検索可能。
「WHO PLUS」	歴史上の人物から現在活躍中の人物までの検索が可能。
「D1-Law.com」	判例情報・法律等の改廃履歴・法律判例文献情報が検索可能

利用方法については、中野区立中央図書館にお問い合わせ下さい。

4. インターネットで調べよう！ ～2013年3月30日現在～

【中野区ホームページ】

《HP》 <http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/>

- ① [トップページ](#) → [暮らしのガイド](#) → [子ども・教育](#) → [小学校・中学校](#) の画面から
 - ・特別支援学級、都立特別支援学校
 - ・特別支援教育就学奨励費についてなどの情報をご覧いただけます。
- ② [トップページ](#) → [暮らしのガイド](#) → [子ども・教育](#) → [子育てに関する相談](#) の画面から
 - ・お子さんの発達にこんな心配や不安はありませんか？（発達相談）などの情報をご覧いただけます。
- ③ [トップページ](#) → [暮らしのガイド](#) → [健康・福祉](#) → [障害者の保健福祉サービス](#) の画面から
 - ・障害のあるお子さんの保育園入園相談、就学相談
 - ・障害のあるお子さんのためのスポーツ教室などの情報をご覧いただけます。

【中野区障害者福祉事業団】

《HP》 <http://www.n-nikoniko.org/>

中野区障害者福祉事業団（愛称名「ニコニコ事業団」）は、区と民間事業所と区民の力を支えとして、区内障害者の自立した生活を援助しています。就業の場の確保・作業の提供・知的障害者のための就職準備フェアなどを開催するほか、社会参加へのサポートとして、車いすガイドヘルパーの派遣、交流啓発事業などの活動を行っています。

【中野区社会福祉協議会】

《HP》 <http://www.nakanoshakyo.com/>

中野区社会福祉協議会は、身近な福祉課題を区民のみなさんとともに考え、解決を図りながら、地域福祉の向上を図ることを目的に設立された民間の福祉団体（社会福祉法人）です。



鷺宮図書館からの お知らせ



おはなし会のお知らせ

鷺宮図書館ではおはなし会をおこなっています。お子さまと一緒にぜひご参加ください。

- 毎月第1、第2、第3金曜日 午後3時30分から
毎月第4、第5土曜日 午後3時から)
- 毎月第2土曜日 午前11時から（うさぎおはなし会・0～3歳児対象）
- 場所 鷺宮図書館 児童室（ピンクのカーペットのスペースです。）

※詳細は図書館の案内や図書館員にお尋ねください。

本のリサイクルのお知らせ

- 1 開始日
月初めの開館日から（なくなり次第、終了となります）
- 2 場所
鷺宮図書館 4階フロア中央、5階入口横
- 3 提供資料
一般書、雑誌、児童書



図書の水濡れにご注意ください

図書館の本は区民の大切な財産です。

雨の日など、本が濡れてしまうと跡がついてしまったり波打ってしまいます。

お持ち歩きの際はビニール袋などに入れていただくなど、ご配慮をお願いいたします。

